

小さいけれど大きな挑戦

3日間の秋季休業を終えて後学期が始まりました。7日の始業式では、次のことを話しました。

ある女の子の話です。その子は、体育の時間、クラスみんなが鉄棒の逆上がりの練習をする中、鉄棒は握るけれど怖くて足が動かない子どもでした。本人に確かめると、前回りも怖くてできず、鉄棒にポンと上がる「跳び上がり」という技もしたことがないということでした。そこで、私は「腕を伸ばすこと」「腕に力を入れること」を伝え、少々無理矢理でしたが、身体を持ち上げ腕を支えることを数度繰り返しました。自分の腕で支える感覚をつかんだのか、自分の力だけでジャンプして「跳び上がり」ができるようになりました。みんなにとっては簡単な技ですが、その子にとっては「怖さ」を我慢する大きな挑戦だったと思いました。自分のできないことを正直に教えてくれたこと、怖い思いを我慢して挑戦したことから、その子は、体育の時間とてもよく頑張ったと思いました。そして、できないその子を笑わず、できたことを一緒に喜んでくれたクラスの子どもたちをととても素敵だなと思いました。



子どもたちの中には、「最初からできないと決めつけてやろうとしない子、できることしかやらない子、失敗が怖いからあきらめる子」がいます。そんな子どもに成長はありません。各学級で、弱い心の自分から這い上がろうとする「小さいけれど大きな挑戦」が毎時間行われていくことを期待したいです。

以下に、始業式での代表児童の発表を紹介します。

←始業式で話を聞く3年生の様子

前きのふりかえりと後きのめあて

二年一組 ○○○○

わたしが二年生になってがんばったことは、一年生にやさしくすることです。二年生は、一年生のお手本だからです。

学校たんけんでは、さくらんぼペアの一年生とかつどうするとき、かいだんをいっしょにゆつくりと歩いたり、大じょうぶと声をかけたりしてあげました。一年生がよろこんでくれたので、うれしかったです。

べんきょうでは、とくに、さんすうの「時こくと時間」をがんばりました。むずかしかったので、家でもいっばいれんしゅうしました。今でも、ひとりべんきょうで、ときどきやっています。にが手なことは、くりかえしてれんしゅうするといいたと思います。

後きにがんばりたいことは、生かつかの「おまつり」です。きよ年の二年生がやってくれた「おまつり」は、とてもたのしかったです。

「わっしょい、わっしょい。」
と言いながら体いくかんを歩いたり、いろんな出店で魚つりやまと当てであそんだりしました。今年、わたしたちのぼんなので、一年生にたのしい思い出をつくってあげたいです。二年生みんなできょう力して、さいこうのたのしいおまつりにしたいです。べんきょうでは、さんすうのかげさんをがんばりたいです。すらすらわかるように、またいっしょけんめいれんしゅうしたいです。



前学期がんばったことと、後学期がんばりたいこと

四年五組 ○○○○○

ぼくが前学期にがんばったことは二つあります。

一つ目は、発表をたくさんしたことです。特に算数では、新しい計算の仕方を見つけて、みんなに伝えることができました。

二つ目は、声をはって歌を歌ったことです。朝の歌や、音楽の授業でたくさん歌いました。特に由利本荘市歌が好きで、きれいに歌うことを意識しました。

ぼくが前学期、心がけて生活したことは三つあります。

一つ目は、授業中に姿勢を正しく保っていることです。姿勢を正しくすると、すっきりした気持ちで勉強することができます。

二つ目は、五分休みや休み時間の時間を守ることです。時計を見て行動し、休み時間が終わりそうな時は教室へもどるようにしました。

三つ目は、人の話をしずかに聞くことです。先生の話や友達の話を見て、話す人の顔を見て聞くようにしていました。

後学期にがんばりたいことは、字をていねいに書くことです。今までは、字のバランスが悪く、とめ・はねをきちんとしていませんでした。これからは、とめ・はねに気をつけて、読む人が分かりやすいような字を書けるようにがんばりたいです。

後学期も、前学期に取り組んだことを続けながら、元気に過ごしたいと思います。



後学期にがんばりたいこと

六年四組 ○○○○○

私が後学期にがんばりたいことは、二つあります。

一つ目は家庭学習のノートづくりです。私の教室には、友達の家学習が展示されています。友達のノートを見てみると、色の使い分けや表の活用がされており、後で復習しやすいノートが多いです。また、国語や算数に限らず、自分に必要な教科を勉強している人もいます。私は、誰がみても分かるノートや目標に、そして自分に必要な学習に進んで取り組むことができよう、友達のリポートを参考にして、家庭学習のリポートをアップを目指していきたいです。

二つ目はあいさつです。小学校生活も残り半年間となりました。私は六年生として、元気で明るいあいさつで全校をリードしていきたいです。そのためにも、あいさつ運動に力を入れていきたいです。さわやかなあいさつを常に心がけ、下級生に対して行動でお手本を示すことができるように努力していきたいです。

残り半年間という短い期間ですが、中学生になるまでに、自分自身の成長と新山小学校への恩返しをできるようにがんばります。

